

4 大力のイツカンウエーブーと ジョウサグンウエーブー

この部落にですね、非常な偉丈夫な方、偉丈夫の方がおったというわけで、えらいまあ知識も多いし、体格も良かったというわけですね。これがイツカンウエーブーとジョウサグンウエーブーと、二人の偉い人がおったというわけですね。この人たちは大体この部落の宗家ですね。まあ、元屋もとやでしょうね。門中制度がありますので。

その人で、結局この人たちは体格もいいし、それから、知識も豊富で、みんなから偉いということで慕われたわけですよ。だから、この人たちがですね、照屋しょうやの東側の大城おほきという森があります、ウフグスクモーという。小高い山があるわけです。この人たちが二人がですね、この棒でもつてこの山を担かかごうとしたら、棒自体が折れて担げなかったと。そういうふうに担いでおれば、ここは本来ならば町になったという。今は沖縄の中心地は首里になっておったけれども、惜しい

ことにこの棒が折れたので、もうこの、出来なかったと。そのくらいその人たちが偉かったということですね、まあそれで、言い伝えが残って。

この棒というものがですね、これがまた、後に残すために、替わりを、代替品を置いてですね、この照屋しょうやの殿とんがありますよね、御嶽みづたけがありますので、今現在ありますから。そこにぼくらの小さい頃はあつたわけですよ。そして、その人が着けた着物がですね、着物は今の所の屋号はイツカンと言いますからね、まあこれは門中の元屋もとやですね、宗家ですね。そこに戦争前は残っておったと。

字照屋 前川次郎助